

## 錦秋と雪富士展望の明神ガ岳・明星ガ岳

【山城】箱根：明神ガ岳（1169m）・明星ガ岳（924m）

【日程と天気】2016年11月13日（日）

【メンバー】CL 菊池・清野

【行程】千城台駅 5：35－都賀－（久里浜行）－戸塚－小田原－8：33 大雄山（南足柄市）  
－バス－道尊了（320m） 都賀－小田原：ホリデーパス（往復）：2670円

9：13 最乗寺見学－登山口 9：34－12：00 明神ガ岳山頂－北西稜線を少し進む 12：16  
－明神ガ岳山頂休憩－14：14 明星ガ岳－15：25 宮野木橋（450m）バス停－バス－宮ノ下  
－箱根登山鉄道－箱根湯本－小田原－千城台 19：00 過ぎ



- ・最近富士山周辺の低山ハイクに興味がある。北は昨年11月の足和田山、南は愛鷹山（越前山：以前ちば山の定例山行で参加）・昨年の金時山に続いての明神ガ岳・明星ガ岳ハイクである。ホリデーパスを利用すると都賀から小田原までの往復が2600円余り、全て含めて4000円ほどの交通費で小春日和のハイキングが堪能できコスパは最高。
- ・登山口の曹洞宗最乗寺を見学するのが定番のようで、樹齢500年以上の約2千本の杉が

茂り厳かな雰囲気醸し出している。



・登山口からしばらくは急な杉林を登り、薄暗い杉林の登山道を暫く進むと朽ちた見晴茶屋休憩所がある。そこからやや急な登山道になり、やがてススキが茂る草原から錦秋の稜線が見えてきた。振り返ると南足柄から小田原の市街地が俯瞰できるが朝靄でけぶっていた。黄色や赤に紅葉した広葉樹林が多くなり明るい登山道となってきた真紅のカエデに歓声を上げて撮影した。



やがて、沢地形を 2 か所ほど通過すると神明水と呼ばれる水場があった。最後のやや急な登りを通過するとパット視界が開けた稜線に到達、神山・大涌谷の下に箱根の町々、金時山・乙女峠の向こうに綺麗な雪富士が迎えており、歓声が上がった。日当たりが良くマツムシソウが 2 輪咲いていた。そこから少し進むと山頂、多くのハイカーが休憩を取

っていた。やや風があり富士山はクッキリ見える。



記念撮影の後、人影の少ない北西方向に稜線を少し進んでみた。多彩な錦秋の大斜面・金時山に続く稜線・秀麗な雪富士、このグレートショットを独り占めした。帰宅後早速PCの背景に採用した。山頂に戻りしばし行動食休憩となった。



・明星ガ岳への縦走は定番である。気持ちよい草原の稜線から少しずつアップダウンを繰り返して下って行く。キク科やフジアザミもあるがなんと



でもリンドウ（竜胆）が圧巻である。どこの山でも初秋に見られる濃紺のリンドウと違い、淡い色合いがなんとも可憐で一気にファンになってしまった。こんな晩秋にこれほど多くの可憐な花がそれも群落を作っているところもあり、得をした気分にならざるを得なかった。そして明星ガ岳に近づくと「まゆみ」

の木が多い、ショッキングピンクに近い色の多く可愛い実が鈴なりとなっております



「まゆみロード」と命名したくなるような部分もあり、天城山の「アセビのトンネル」を思い出した。宮城野への分地地点には見事な大きなまゆみの木があり、まさにシンボルの木と言っても過言ではないようであった。明星ガ岳の山頂は見通しが効かず、宮城野分岐点に戻り小休憩の後下山した。

- 1時間余りで宮城の橋バス停に到着、紅葉の溪流の橋のたもとにあるバス停からぎゅうぎゅう詰めバスに乗車したが、宮ノ下から渋滞とのこと、以前から乗って見たかった箱根登山鉄道に初体験で乗り換えたが、朝の山手線以上のすし詰め状態、湯本までの苦しかったことこの上ない。疲労もあり変な姿勢で我慢したせいか、腰に来そうな感じ、コルセットを持参せず、悔やまれた。慎重に体勢を整え、腰をいたわりながら小田原で東海道線に乗り換え、ようやく腰かけることができた。時間が迫っていたが、キヨスクで泡の出る 350 cc を購入でき癒すこと（??）ができた。稲毛駅での人身事故などで総武快速・横須賀線・東海道線などに影響し遅れが出たが、7時過ぎに千城台に到着。大満足の小春日和のハイキングでした。



しばらく富士山周辺の低山研究をしてみたい気分である。